

第5単元 長いものの長さのはかり方と表し方A

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 30 ② (各10) ③	① 6 m15cm ② 9 m 5 cm ③ 14m65cm	知技 卷尺に表された長さを読み取ることができる。	大きい目盛りから小さい目盛りへと読むようにさせる。③では、15mより短いから14mという読み方ができるようにする。
②	① 20 ② (各10、①は完答)	① (順に) 2、500 ② 1080	知技 kmとmの単位の間係を理解している。	1 km = 1000mであることを基に考えさせていく。
③	① 50 ② (各10) ③	① 700m ② 1200(m)、 1 (km)200(m) ③ 式 1000 - 800 = 200 答 200m	知技 距離と道のりの違いを理解している。	距離、道のりの意味を確認する。

第5単元 長いものの長さのはかり方と表し方B

問題番号	解 答 (許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	①…卷尺は、丸いものをはかることができるから。 ②…長いものをはかるときに卷尺を使うと1回ではかれるから。(卷尺の有用性に触れていれば正解とする。)	思判表 卷尺の機能について説明している。	いろいろなものの長さをはかる活動を多く取り入れ、長いものや丸いものをはかるときには、定規よりも卷尺のほうが便利であることを実感できるようにし、卷尺の特長をとらえさせるようにしていく。
②	① km ② m	思判表 長さの量感をもとに、適切な単位を選択している。	体の一部や身近なものをを用いて、自分なりの単位の感覚をもてるようにし、それを基に考えさせていくとよい。
③	(例) ①(の道)…3つの道の中でいちばん道のりが短いから。(道のりなどについて筋の通っている理由になっていれば、どの道を選んでも正解とする。)	思判表 選択した理由を筋道立てて説明している。	道のりや距離は、生活に身近なものであるから、算数の学習だけでなく、他の教科や生活の中でも活用できるようにしていきたい。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	5問	4～3問	2問以下

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容	3項目とも意欲的である。	3項目ともおおむね意欲的である。	どの項目も消極的である。